

月平均 500mb 天気図. 1991年 6月

(破線は平年からの偏差. 単位m)

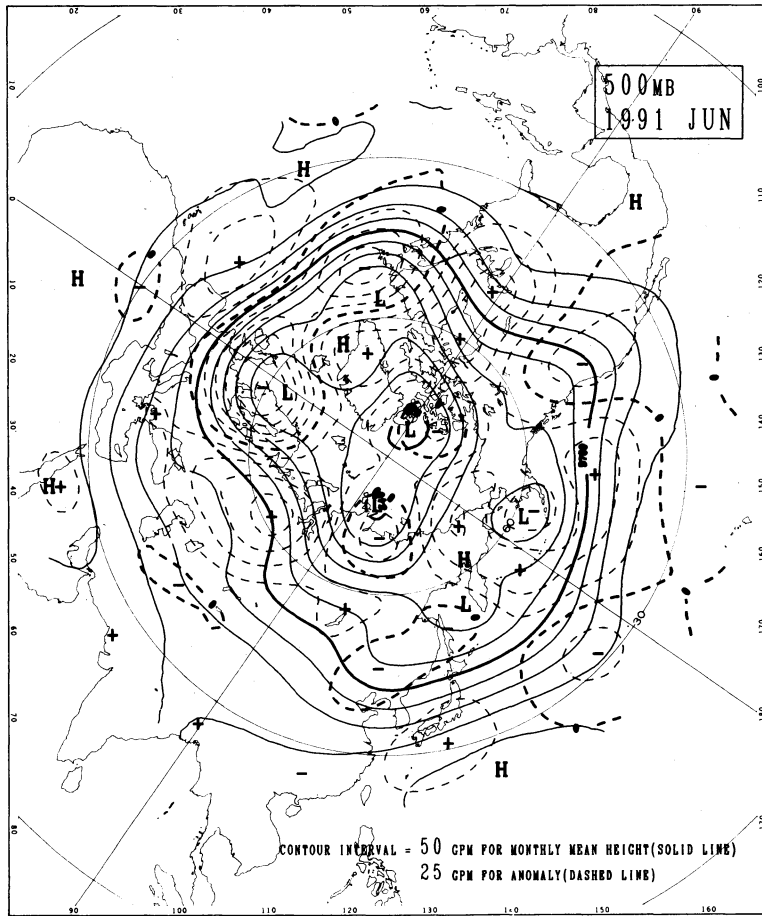


表1 1991年 6月の気候表

地点名	気温 ℃	偏差 ℃	DT/SD	降水量 ミリ	比率 %	降水 階級	地点名	気温 ℃	偏差 ℃	DT/SD	降水量 ミリ	比率 %	降水 階級
パリ	—	—	—	—	—	—	カサブランカ	—	—	—	104	95	—
ベルリン	15.0	-2.6	-2.2	72	94	4	ニオロドサヘル	34.7	1.8	2.6	0	0	1
ローマ	—	—	—	—	—	—	プレトリア	12.2	1.6	1.2	—	—	4
イスタンブール	20.7	-0.2	-0.3	13	63	2	バンクーバー	—	—	—	202	111	—
モスクワ	-18.8	2.0	1.1	162	237	—	ニューオリンズ	27.4	0.3	0.3	246	184	5
オデッサ	20.0	0.6	0.4	61	144	5	セントルイス	26.6	2.8	1.8	164	291	0
ニューデリー	33.1	-0.7	-0.6	51	90	4	サンフランシスコ	15.2	-0.7	-0.7	46	51	4
カルカッタ	30.1	-0.2	-0.2	322	124	4	ニューヨーク	23.8	2.1	1.9	124	139	4
ボンベイ	29.5	0.5	1.0	1098	188	6	マナウス	—	—	—	—	—	—
ホンコン	28.4	0.7	1.2	372	86	3	リオデジャネイロ	—	—	—	—	—	—
チャンチュン	19.8	-0.2	-0.2	136	150	5	ロサリオ	11.0	0.6	0.3	—	—	5
ペキン	-24.1	-0.1	-0.1	236	303	6	ホノルル	26.3	0.6	0.8	125	140	3
シャンハイ	24.1	—	—	321	—	6	タヒチ	26.0	1.2	2.4	55	20	1
バンコク	29.5	0.4	0.8	102	65	—	ダーウィン	26.3	1.0	1.0	290	117	—
マニラ	—	—	—	—	—	—	キャンベラ	9.7	3.2	3.2	44	78	5

## 6月の世界の天候

500mb 天気図では、月前半はタイミル半島付近に後半はカナダ北部に極渦が位置した。中緯度の循環場は波数5が卓越し、月平均図では北欧付近、沿海州付近、北米西岸およびカナダ東方海上のトラフが顕著である。

## ① 日本・中国沿岸部の高温

中国沿岸部から日本にかけ全般に高温となった。地域によっては豪雨に見舞われ、長江河口域の江蘇省、安徽省では大洪水が発生し多数の死者を出している。北京や、干ばつの続いていた台北などでも平年の約3倍の雨量があった。

## ② インド中部・南部の大雨

平年並にモンスーン入りしたと見られるインド南部では、上旬を中心に大雨が降り、ボンベイ（月降水量1098mm 平年比1.9倍）では大きな被害を出した。パキスタン南部は上旬に熱波に見舞われた。

一方、インドシナから中国南部は少雨傾向だった。

## ③ ウラルの高温

## ④ ヨーロッパ北西部の低温多雨

4月以降、月平均 500mb 天気図ではヨーロッパ方面にトラフ、ウラルから西シベリアにリッジのパターンが持続している。ソ連のウラル地方では2月続けて記録的

な高温となった。ヨーロッパではイギリス、ドイツ、デンマークなど北西部を中心に低温となり、また、北欧を中心に多雨傾向となった。

## ⑤ アメリカ合衆国北東部の少雨

アメリカ合衆国では多雨傾向の地点が多くなっているが、北東部では高温少雨となった。

## ⑥ アルゼンチン北部の多雨

アルゼンチンからウルグアイにかけて多雨だった。

また、チリでは、一年を通じてほとんど降水量のない北部アントファガスタ地方に集中豪雨があり、土砂崩れ洪水が発生した。

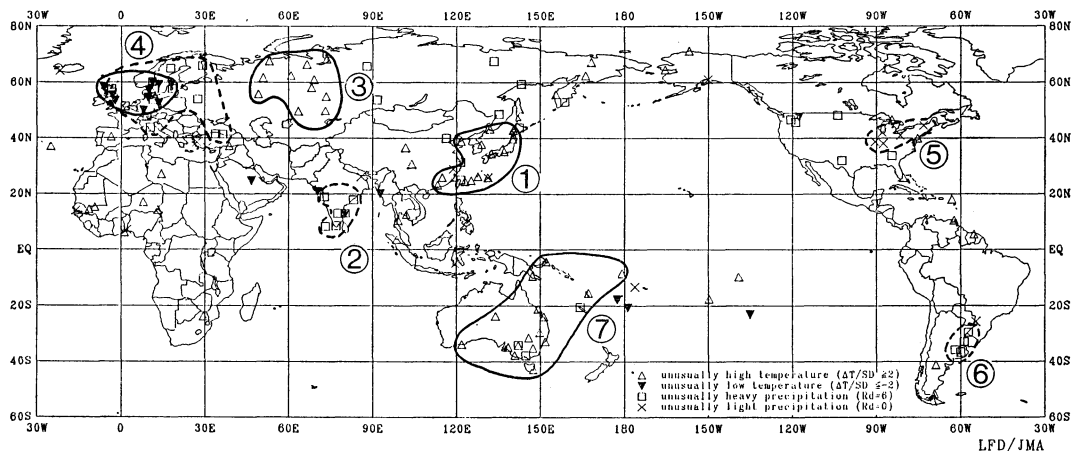
## ⑦ オーストラリア南東部の高温

オーストラリアでは南部を中心に高温となりスキー場に雪がないなどのニュースが流れた。一時、干ばつも懸念されたが南部では平年を大きく上回る降水があった。

## ⑧ その他

雨期に入ったアフリカ西部サヘル地方では、地域によって降水量にばらつきがあるが総じて平年並の雨量とみられる。

(気象庁長期予報課 川真田 正宏)



1991年6月の世界の異常天候分布図

△：高温 ▽：低温

図中の番号は、本文中の番号と対応している。

□：多雨 ×：少雨

1991年6月の気候表の説明、平年値は1951～1980年のデータに基づくもの。降水階級は五分位値で、0は最小値より小さい場合、6は最大値より大きい場合。500mb 高度場の平年値は1961～1990年の30年平均値。